

四半期報告書

(第83期第2四半期)

自 平成24年7月1日

至 平成24年9月30日

株式会社G S I クレオス

東京都千代田区九段南二丁目3番1号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 2
- 2 事業の内容 3

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 4
- 2 経営上の重要な契約等 4
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 4

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 6
- (2) 新株予約権等の状況 6
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 6
- (4) ライツプランの内容 6
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 6
- (6) 大株主の状況 7
- (7) 議決権の状況 7

2 役員の状況 8

第4 経理の状況 9

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 10
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 11
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 13

2 その他 18

第二部 提出会社の保証会社等の情報 19

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月12日
【四半期会計期間】	第83期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社G S I クレオス
【英訳名】	GSI Creos Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 深瀬 佳洋
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	経理部長 松尾 慶彰
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	経理部長 松尾 慶彰
【縦覧に供する場所】	株式会社G S I クレオス大阪支店 （大阪市中央区大手前一丁目7番31号（OMMビル）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第82期 第2四半期 連結累計期間	第83期 第2四半期 連結累計期間	第82期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (百万円)	61,833	61,453	121,728
経常利益 (百万円)	835	758	1,674
四半期(当期)純利益 (百万円)	682	618	1,126
四半期包括利益又は 包括利益 (百万円)	428	327	929
純資産額 (百万円)	11,356	11,897	11,832
総資産額 (百万円)	60,621	60,112	57,094
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	10.61	9.61	17.51
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	18.61	19.71	20.64
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△1,021	187	112
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△195	△329	△710
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	399	△925	△386
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	8,606	7,430	8,435

回次	第82期 第2四半期 連結会計期間	第83期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期 純利益金額 (円)	5.68	5.06

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復の兆しが見受けられたものの、円高の定着やデフレの影響に加え、欧州債務危機に伴う金融不安や中国等の新興国の成長鈍化により、低調に推移しました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同期比379百万円、0.6%減収の61,453百万円となり、売上総利益は、前年同期比82百万円、1.2%減益の6,575百万円となりました。営業利益は、一般管理費が増加したことから前年同期比262百万円、23.9%減益の835百万円となりましたが、経常利益は、営業外損益が改善しましたので、前年同期比77百万円、9.3%減益の758百万円となりました。四半期純利益は前年同期比64百万円、9.5%減益の618百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①繊維関連事業

機能性の高いインナー用の原糸および生地取引は伸長しましたが、競争激化により利益幅が縮小しました。その他の合繊糸やインナー用生地も低調に推移しました。また、企画提案型の婦人ファンデーションは前年並となりましたが、実用衣料は、紳士肌着が量販店向けを中心に大きく落ち込むなど苦戦を強いられました。インナーウェアならびに雑貨の小売展開は、店舗関連経費が先行しました。

アウター用の生地輸出は、円高の影響を受けて韓国や中国向けが減少しました。一方、OEM取引は、レディースやアウトドア向けが堅調に推移しました。また、婦人アパレル事業は、残暑の影響を受けて苦戦しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比70百万円、0.1%増収の50,108百万円、営業利益は前年同期比394百万円、40.9%減益の570百万円となりました。

②工業製品関連事業

半導体関連機材は、中国製ウエハーなどの部材の取扱いは増加したものの、装置の取扱いが減少しました。フィルムは、前年の震災後に増加した食品包装向け需要の反動により減少しましたが、塗料・樹脂の硬化用添加剤や、米国における半導体用途の化学製品の取扱いは堅調に推移しました。

ホビー関連商品は、プラモデル用塗料が堅調に推移するとともに、他用途に展開している塗装用器具が増加しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比450百万円、3.8%減収の11,344百万円、営業利益は前年同期比84百万円、22.0%増益の471百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より事業名称変更に伴い、従来の「非繊維関連事業」から「工業製品関連事業」に表記を変更しております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の増加などにより、前期末比3,018百万円増加の60,112百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比2,953百万円増加の48,215百万円となりました。

純資産は、その他の包括利益累計額の減少などがあったものの、四半期純利益による株主資本の増加により、前期末比64百万円増加の11,897百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、投資有価証券の取得や貸付けなど投資活動による支出や、借入金の返済など財務活動による支出などの要因により、全体では前期末に比べ1,055百万円減少の7,430百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、187百万円の増加（前年同期比1,209百万円の収入の増加）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、329百万円の減少（前年同期比134百万円の支出の増加）となりました。主な要因は投資有価証券の取得、貸付けによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、925百万円の減少（前年同期比1,324百万円の支出の増加）となりました。主な要因は借入金の返済によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数（株） （平成24年9月30日）	提出日現在発行数 （株） （平成24年11月12日）	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	64,649,715	64,649,715	東京証券取引所 （市場第一部） 大阪証券取引所 （市場第一部）	単元株式数は1,000株であ ります。
計	64,649,715	64,649,715	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 （千株）	発行済株式 総数残高 （千株）	資本金増減額 （百万円）	資本金残高 （百万円）	資本準備金 増減額 （百万円）	資本準備金 残高 （百万円）
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	—	64,649	—	7,186	—	913

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合 (%)
グンゼ株式会社	京都府綾部市青野膳所1番地	9,321	14.42
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	3,182	4.92
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	3,172	4.91
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	2,586	4.00
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号	1,982	3.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,499	2.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	1,303	2.02
日本興亜損害保険株式会社	東京都千代田区霞が関三丁目7番3号	1,119	1.73
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	東京都中央区日本橋三丁目11番1号	640	0.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	484	0.75
計	—	25,291	39.12

(注) 所有株式数の千株未満は切り捨てて表示しております。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 305,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 63,777,000	63,777	—
単元未満株式	普通株式 567,715	—	—
発行済株式総数	64,649,715	—	—
総株主の議決権	—	63,777	—

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式336株が含まれております。

②【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社G S I クレオス	東京都千代田区九段南二丁 目3番1号	305,000	—	305,000	0.47
計	—	305,000	—	305,000	0.47

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人 保森会計事務所による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,435	7,430
受取手形及び売掛金	※2, ※3 27,640	※2, ※3 31,129
商品	9,236	9,388
未着商品	124	38
その他	1,248	1,558
貸倒引当金	△523	△513
流動資産合計	46,163	49,033
固定資産		
有形固定資産	5,402	5,470
無形固定資産	321	517
投資その他の資産	※4 5,207	※4 5,092
固定資産合計	10,931	11,079
資産合計	57,094	60,112
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 20,056	※3 23,113
短期借入金	16,073	15,941
1年内返済予定の長期借入金	1,269	1,260
未払法人税等	185	269
引当金	433	373
その他	2,463	2,797
流動負債合計	40,481	43,756
固定負債		
長期借入金	3,572	3,060
退職給付引当金	1,086	1,017
負ののれん	0	—
その他	120	381
固定負債合計	4,779	4,458
負債合計	45,261	48,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	908	908
利益剰余金	5,219	5,575
自己株式	△55	△55
株主資本合計	13,259	13,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△663	△1,015
繰延ヘッジ損益	△36	△26
為替換算調整勘定	△775	△724
その他の包括利益累計額合計	△1,475	△1,766
少数株主持分	48	48
純資産合計	11,832	11,897
負債純資産合計	57,094	60,112

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	61,833	61,453
売上原価	55,174	54,877
売上総利益	6,658	6,575
販売費及び一般管理費	※1 5,559	※1 5,739
営業利益	1,098	835
営業外収益		
受取利息	11	69
受取配当金	33	42
その他	47	88
営業外収益合計	93	200
営業外費用		
支払利息	206	202
為替差損	111	12
その他	39	64
営業外費用合計	356	278
経常利益	835	758
特別利益		
固定資産売却益	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	834	776
法人税、住民税及び事業税	147	166
法人税等調整額	3	△8
法人税等合計	150	157
少数株主損益調整前四半期純利益	683	618
少数株主利益	0	0
四半期純利益	682	618

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	683	618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△242	△351
繰延ヘッジ損益	△2	9
為替換算調整勘定	△9	51
その他の包括利益合計	△254	△290
四半期包括利益	428	327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427	327
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	834	776
減価償却費	111	129
のれん償却額	△0	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23	△20
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△59	△68
事業撤退特別損失引当金の増減額 (△は減少)	△295	△43
受取利息及び受取配当金	△45	△111
支払利息	206	202
為替差損益 (△は益)	△0	2
有形固定資産売却損益 (△は益)	0	△19
有形固定資産除却損	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,544	△3,219
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△970	1
その他の資産の増減額 (△は増加)	△59	△180
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,830	2,868
その他の負債の増減額 (△は減少)	247	133
その他	25	△32
小計	△739	417
利息及び配当金の受取額	45	51
利息の支払額	△207	△197
法人税等の支払額	△120	△84
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,021	187
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39	△75
有形固定資産の売却による収入	1	19
無形固定資産の売却による収入	—	140
投資有価証券の取得による支出	△51	△136
投資有価証券の売却による収入	—	5
出資金の払込による支出	△92	△94
貸付けによる支出	△0	△237
貸付金の回収による収入	34	57
その他	△46	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195	△329
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	615	△220
長期借入れによる収入	364	132
長期借入金の返済による支出	△555	△653
配当金の支払額	—	△128
少数株主への配当金の支払額	—	△0
その他	△25	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	399	△925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△819	△1,055
現金及び現金同等物の期首残高	9,425	8,435
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	50
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 8,606	※1 7,430

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間より、吉思愛(上海)工程塑料加工有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
一部連結子会社については見積実効税率により税金費用を算定しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の借入金等に対し、保証しております。(円換算は第2四半期決算日または決算日の為替相場によっております。)

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
GSI (Shenzhen) Ltd. 214百万円	GSI (Shenzhen) Ltd. 194百万円
GSI Europe-Import+Export GmbH 86	GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd. 83
GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd. 78	GSI Europe-Import+Export GmbH 55
GSI Shanghai Engineering Plastic Processing Co.,Ltd. 52	日神工業株式会社 41
日神工業株式会社 46	寧波武田紡績有限公司 4
寧波武田紡績有限公司 6	
計 484	計 379

※2 受取手形割引高

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形割引高 154百万円	175百万円

※3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休業日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形 616百万円	816百万円
支払手形 499	492

※4 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
投資その他の資産 353百万円	343百万円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
物流費	923百万円	882百万円
販売諸掛	1,020	995
従業員給与及び賞与	1,041	1,068
賞与引当金繰入額	309	343
退職給付費用	65	59
その他	2,200	2,390
計	5,559	5,739

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金	8,606百万円	7,430百万円
現金及び現金同等物	8,606	7,430

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	128	2.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,037	11,795	61,833	—	61,833
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	59	59	(59)	—
計	50,037	11,854	61,892	(59)	61,833
セグメント利益	965	386	1,351	(253)	1,098

(注) 1 セグメント利益の調整額△253百万円には、セグメント間取引消去59百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用193百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,108	11,344	61,453	—	61,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	55	55	(55)	—
計	50,108	11,400	61,509	(55)	61,453
セグメント利益	570	471	1,041	(205)	835

(注) 1 セグメント利益の調整額△205百万円には、セグメント間取引消去55百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用150百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 第1四半期連結会計期間より、従来の「非繊維関連事業」から「工業製品関連事業」へセグメント名称を変更しております。

なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

有価証券関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。また、ヘッジ会計を適用しておりますので、注記の対象から除いております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	10円61銭	9円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	682	618
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	682	618
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,358	64,347

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

株式会社G S I クレオス
取締役会御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 大 東 幸 司 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 渡 部 逸 雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社G S I クレオスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社G S I クレオス及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月12日
【会社名】	株式会社G S I クレオス
【英訳名】	GSI Creos Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 深瀬佳洋
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【縦覧に供する場所】	株式会社G S I クレオス大阪支店 (大阪府中央区大手前一丁目7番31号 (OMMビル)) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長深瀬佳洋は、当社の第83期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。